

令和6年度第1回北区地域公共交通会議  
議事要旨

◇ 日時

令和6年10月3日（木）午前10時から

◇ 場所

北区役所別館2階研修室

◇ 会議次第

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 委員紹介

4. 報告事項

(1) 北区デマンド型交通の利用状況と利用促進策等について

(2) コミュニティバス（浮間ルート）の運行状況等

(3) 国際興業バス 赤58系統の廃止に伴うコミュニティバス（浮間ルート）  
での代替運行について

5. 議 題

(1) 赤羽西地域部会設置について

(2) 北区地域公共交通会議設置要綱の改正（案）について

6. 閉 会

◇ 出席委員

25名（敬称略・順不同）

会長 久保田 尚

委員 下山 豊 大前 孝太郎（代理：杉山 徳卓）、小松 栄美子、  
三好 常枝、若田 瑞穂、鈴木 健史、佐藤 智彦、關田 和弘、

木原 光資（代理：野崎 理）、地宗 知子、小池 毅、志村 雅貴、  
久我 恒夫、佐藤 義尚（代理：須藤 まゆみ）、菊池 信久  
石本 昇平、西東 俊郎、竹内 紀、時任 一郎、橋本 孝、  
藤野 浩史、雲出 直子、寺田 雅夫、岩本 憲文  
事務局 交通事業担当課

## 議事内容

### 1. 開会

- 事務局より開会宣言

### 2. 会長挨拶

- 会長より挨拶

### 3. 委員紹介

- 事務局より委員紹介

### 4. 報告事項

- 質疑応答

(1) 北区デマンド型交通の利用状況と利用促進策等について

(委員)

利用者の年代別では、80代の高齢者が多いのか、若い方が結構利用しているのかわかりますか。利用者の年代が偏りすぎると大変良い政策も少し心配になってきた。交通の便が悪いので取り入れた政策なので、若い方から高齢者まで幅広く多くの方に利用してもらうよう地域の皆様にもっとアピールしてほしい。

(事務局)

ご予約の際は、必要最小限の情報しかお聞きしておらず、年代はお聞きしていない。予約コールセンターや乗務員から聞く限り、8割以上が高齢の方で、病院利用が多いのが現状です。

(委員)

周知活動についてですが、使用しているタクシー車両に「AI オンデマンド交通実証実験中」などのマグネットを貼ってはどうか。珍しい取り組みなので、そのような車両が走れば「何をやっているのか」と気になる人がいるだろう。検討してみてもいいか。チラシは、配布すれば見るが、おいてもらってもなかなか持って帰ってはもらえない。

(事務局)

今回、複数のタクシー業者さんに参画いただいている。運行している車両以外での周知の協力を今後協議していく。

(委員)

周知活動について、これまでチラシの配布、説明会が主なもののようだが、北区ニュースや広報課を通じての情報発信がどうなっているのか。デマンド型交通は社会実験として非常に重要なテーマであるのだから、観光協会からも積極的に SNS で発信をすることができる。できるだけ多くの方に認知をしてもらい、事業をつなげてもらいたい。

今行っている手法では、限定的な人にしか情報が届いていないと思われる。予算をかけることは難しいかもしれないが、オーガニック投稿等発信の方法はある。最初だけではなく、やっている過程の段階でも認知を促すことが大事だと思う。

(事務局)

利用促進策として、ご提案させていただいた乗降場所の追加を契機とし、チラシの再配布を含め大々的に活動していく。ご提案いただいた広報課、SNS 等を積極的に利用し、利用促進を図ってまいりたい。

(委員)

SNS 等の情報発信をどこが担当して行うのかということが重要。交通関係のセクションだけで行うのではなく、組織の横の関係を使って行っていくべきだと思う。

今回の事業は、北区全体が社会実験をやっていくという話でロールモデルの一つになる。ほかのセクションと組みながらやることに意義がある。例えば観光協会と組むというのもいいと思う。

(事務局)

広報課やシティープロモーション等の所管部署と連携し、横の広がりも含め、ご提案いただいた観光協会さんとの連携も模索しながら検討してまいりたい。

(委員)

目標値について、今回の事業はとてもいい政策をやっていると思うが、利用者15人/日に到達しないのはなぜか、要因はあるのか。

(事務局)

運行開始以来、様々な周知を行ってきたが、その中で、最初にチラシの全戸配布をおこなっているが、一定数事業を知らなかったというお声があった。周知が行き届いてなかったというのが要因の一つではある。もう一つは、あまり聞きなれない交通形態なため、バス・タクシーなどの通常の公共交通より利用に対してのハードルが高いという意見がある。このため、使いやすさ、使い勝手の良さのアピールを含めた周知を合わせて工夫して行ってまいりたい。

(会長)

皆さん、とにかく周知の方法についてのご意見が共通の認識のようなので、今後様々な形で周知徹底をしていただきたい。

(2) コミュニティバス（浮間ルート）の運行状況等

(3) 国際興業バス 赤58系統の廃止に伴うコミュニティバス（浮間ルート）での代替運行について

(委員)

皆様にはいつもご協力いただきまして、ありがとうございます。赤58系統の見直しですが、赤58系統は東京医療センターができた時から運行させていただいておりました。ただ、昨今の担い手不足の問題、改善基準、労働時間制限の問題、それから浮間方面も元をたせば、国際興業でやらせていただいていたところ、路線の維持が困難になり、最終的に廃止に至って、現在、北区のコミュニティバスが運行している。その浮間ルートがほぼ赤58系統と至近のところを走っており、この度、路線（赤58系統）を廃止する決断をさせていただきました。

今ご利用いただいている皆様にはご不便をおかけしてしまうかもしれませんが、そこは申し訳ございません。国際興業として、担い手不足の中、守るべき路線を守っていかねばいけない、今ご利用のお客様方の利便性を維持しなければいけないというところで全力で取り組んでおります。

今回の浮間ルートへの赤58系統の統合にあたっては、既存バス停の共用その他が素案としてあがっているが、それらも全体の利便性を鑑みながらそれぞれ相談させていただきながら進めていこうと考えております。ご理解いただければと思います。

(会長)

ありがとうございました。今後、今の点について相談していただくということでよろしくをお願いします。

## 5. 議 題

(1) 赤羽西地域部会設置について

(2) 北区地域公共交通会議設置要綱の改正（案）について

(会長)

資料6スケジュールにおいて、赤羽西部会の第1回の議題に浮間ルート素案とあるが、これはどういう意味なのか。

(事務局)

赤58系統が赤羽西地域のエリア内の既存路線であったというところで、地域にかかわりが高いということで、部会においても素案を提示させていただき、個別にご意見をいただければということで挙げている。

(会長)

赤羽西地域部会は、構成員として指名されている皆様で今後議論をお願いしたい。

(委員)

赤羽西地域について、まだあまり皆さんへのお知らせがされていないところだと思うが、地域の皆さんは一日も早く利用できるよう大変な期待をして待っていると思う。このルートをいち早く確定してほしい。そのためにしっかりと議論・検討をして地域の皆さんに喜んでもらえるよう頑張りましょう。

(事務局)

先月末頃から各地域の連合会、町会会議に伺って、説明をしてきているところです。今月中には関係町会を全て回り終えることを踏まえ、部会を開催し、地元からいただいた意見等も紹介しながら、それらを踏まえた議論、検討を進めていければと考えている。

## 6. 閉会

・事務局より、閉会宣言

以上